

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	新潟県	事業実施主体	新潟県、柏崎市	地域再生計画名	港を中心とした越後の海の魅力強化計画
計画期間	令和4年度～令和8年度	評価責任者	新潟県交通政策局港湾整備課長、新潟県農林水産部漁港課長		

地域再生計画の目標	基準年度	中間目標値	最終目標値	中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価					
					指標総数	達成数						
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況												
目標1	港周辺の入込客数の回復	144万人	R2	200万人	R6	274万人	274万人	R8	○	4	3	既に最終目標値を達成している。引き続き計画にある整備を進め、主要魚種の魚価の向上を目指す。 公共投資の削減によるセメント需要及び石材需要の低下により、セメント運搬船の入港隻数が減少したこと、また、背後地の採石場が閉鎖したことで、石材運搬船の入港隻数がゼロになったことにより、中間目標の達成ができなかった。一方、地元自治体などのポートセールスにより、R6から木材運搬船による輸出が始まったこと、また、能登半島地震災害復旧工事による石材需要から、背後地の採石場が再開し、R7から石材搬出が始まったことから、今後は大型船舶の入港隻数の増加が見込まれる。 既に最終目標値を達成している。引き続き計画にある整備を進め、3市1町のふるさと納税受入額の増加を目指す。
目標2	主要魚種の魚価の向上	1,077円/kg	R1	1,249円/kg	R6	1,445円/kg	1,325円/kg	R8	○			
目標3	大型船舶の入港隻数の増加	32隻	R2	32隻	R6	14隻	40隻	R8	×			
目標4	3市1町のふるさと納税受入額の増加	2,405百万円	R2	3,202百万円	R6	6,239百万円	3,874百万円	R8	○			
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度 (R6)	最終実績 見込み							
特別措置を適用して行う事業	港湾事業 水域施設 外郭施設 臨港交通施設 港湾環境整備施設	185,390m2 90m 580m 4,000m2	98,500m2 25m 276m 0m2	185,390m2 90m 580m 4,000m2	当初計画に対し、各施設の進捗に遅れがあるが、地域再生計画の変更認定申請を行い計画期間を延長し、引き続き計画に則した整備を目指していく。							
	漁港事業 水域施設 外郭施設 漁港施設用地	49,700m2 40m 2,300m2	41,800m2 28m 1,834m2	49,700m2 40m 2,300m2	当初計画に対し、間瀬漁港泊地浚渫工事の進捗に遅れがあるが、地域再生計画の変更認定申請を行い計画期間を延長し、引き続き計画に則した整備を目指していく。							
その他の事業												
計画外で独自に実施した事業	柏崎の海キラキラ未来プロジェクト	提供のあった海に関する活動や情報を市のHPやSNS等で紹介することで、海を楽しむ人、海で活動する人を増や			海で活躍する事業者・団体などが日頃の活動やイベントなどの情報発信し、柏崎市の重要な観光資源である「海」の魅力、未来につなげることを目的とした取り組みを実施している。							
	かしわざきセントラルビーチの開発	海辺でのアウトドアレジャーを楽しむ新たな海の拠点づくりを目指す。			柏崎港の港湾区域内「みなとまち海浜公園」において、4月から10月までの間「かしわざきセントラルビーチ」を開設し、バーベキュー、キャンプなど、さまざまなアウトドアコンテンツを備えた海の拠点づくりを実施している。							
	柏崎港観光交流センター（夕海）の活性化	海洋レジャーの拠点の場を提供し、市内への周遊促進と経済効果の拡大を図る。			柏崎港の港湾区域内「夕海」は、毎年4月から10月までの間に営業しており、柏崎港のにぎわいを創出するとともに、港湾の知名度向上に取り組んでいる。							
	浜の活力再生広域プラン（第2期）	新潟県産水産物の品質向上、流通販売強化や水産物の高付加価値化に取り組む。			漁獲物の高付加価値化を目指して取り組んでいる神経締めについて、地域全体の品質の底上げを図るため、講習会の実施や実施基準の統一化、関係者への周知や市場関係者等への認知向上に取り組むなど、神経締めの推進に取り組んでいる。 また、県内消費者や県内を訪れる旅行者に対して、生産者及び流通・飲食店が一体となって、新潟県産の「神経締め魚」のPRを行っている。							
③評価方法	第三者に意見を求め、中間目標値の実現状況に関する評価・検討を行う。											
④中間評価の公表方法	新潟県及び柏崎市のホームページに掲載											
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画は、水産物の生産拠点である間瀬漁港、出雲崎漁港、荒浜漁港及び笠島漁港と、水産物の消費・流通拠点でありマリンレジャーの拠点でもある寺泊港及び柏崎港の6港の施設を一体的に整備すると同時に、観光拠点の整備に取り組むことにより、港周辺ににぎわいを取り戻し、魚価の向上を目指している。 目標3においては様々な要因により、中間目標値の達成に至らなかったが、最終目標値を達成できるよう、引き続き計画にある整備を進める。											
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容						
	地域再生計画の見直し（有・無） 令和8年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円					目標は概ね達成される見込みであるが、港湾及び漁港の事業進捗状況が若干遅れているため、計画変更し事業期間を2年延伸する						
⑦今後の方針等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> 事業期間延長および事業費増の計画変更の認定申請を予定している。 目標達成のため、整備事業を進めるとともに、計画外事業も継続して取り組みを進める。 											